

第 1444 回例会報告

会長挨拶

会長 御子柴文夫

地方の時代に 果たすべき役割を学ぼう。

諏訪湖も結氷し寒さも厳しくなりました。

当会から送り出す次年度諏訪グループガバナー補佐予定者の大澤会員もご出席しての会長幹事会が先日開催されました。次年度の準備が始まっております。会員全員で大澤会員を支援して行きましょう。

本日の講師に金子ゆかり諏訪市長様をお招きしております。

日本全国で行政体の首長を務められた女性は 60 余名おります。現在は知事 2 名・市長 17 名・特別区長 1 名・町長 4 名がその職責を務めております。首長全数の 1.5%程度のため今後の女性進出が期待されております。金子市長は長野県内で唯一の女性首長であります。

行政体は明治維新後の明治 21 年に 71,314 箇所が存在していましたが、政府方針で明治 22 年に 15,859 箇所となり、大正 11 年 12,315 箇所、昭和 22 年 10,505 箇所、合併特例法により昭和 31 年 4,668 箇所、諏訪地方は 3 市 2 町 1 村となり、平成 16 年 3,100 箇所、平成 26 年 1,718 箇所となりましたが諏訪地方は 3 市 2 町 1 村のまま存続しております。

人口減・高齢化により国民一人当たり投下で

平成28年1月21(木)晴れ

きる額の減少等に立ち向かうため、地方の時代と叫ばれております。考えようでは地方への押し付けの時代の到来です。

約10箇所の合併により上諏訪村・上諏訪町・諏訪市と変遷してきた諏訪市は人口減・高齢化に加え、軟弱な地盤から地震対策を初め自然災害に立ち向かう施策等、どのような未来を造るかに行政長の手腕が問われる難しい時代となっております。

金子市長は県議時代を含め手腕を期待されている方です。ご講演の中から市長の思い描く地域の将来像を汲み取り、当会も果たすべき役割を見だせたら幸いです。

◇幹事報告◇

1)2月14日(日)1447回例会は、岡谷ロータリークラブ主管の「IM」へ参加となります。

12時ライブプラザ・マリオ登録受付開始

12時30分インターシティーミーティング開会点鐘

1.会員セミナー

2.講演会

3.懇親会

くれぐれもお忘れなくご参加のほどお願い申し上げます

委員会報告

【国際奉仕委員会】

副委員長の高林です。本年の「財団」「米山」寄付額が少ないと委員長より指摘を受けました。来週委員長も出席いたします。ぜひ寄付をお願いいたします。

頃出席報告

会員数	38名
出席対象	37名
出席者数	31名
出席率	83.8%
前回修正	91.9%

■ニコニコBOX

5名	6,000円
累計	317,000円
目標額	60万円
達成率	52.8%

■今週のことば

金子ゆかり市長様、ご都合をつけておいでくださり心より感謝申し上げます

御子柴文夫



2015-2016年度 国際ロータリーテーマ
世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

第 1444 回例会

新春卓話例会

金子ゆかり諏訪市長

会長・幹事

本日は諏訪市長金子ゆかり様をお迎えし「新春卓話」をいただきました。

1月6日に策定されました「諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を見させていただきましたところ、金子市長には内容をよく理解したうえ、私たちにも解りやすく説明していただいたことがわかりました。その一部引用して卓話例会の取材原稿とさせていただきます。



「諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、以下の4つの基本目標を設定して、地方創生に資する施策を展開します。施策展開にあたり、それぞれの基本目標を、天下の大祭として全国的に広く知られている「御柱祭」になぞらえ、一之柱から四之柱へと位置付けました。

一之柱 魅力的で安定した「しごと」ができる「まち」の創生

二之柱 「行ってみたい」、「戻ってきたい」、「住んでみたい」と思える「まち」の創生

三之柱 若い世代の「希望」を実現、「ひと」を育てる「まち」の創生

四之柱 誰もが安全・安心・安定して暮らせる、個性が輝く「まち」の創生といたしました。

たとえ「しごと」があっても、諏訪市での「暮らし」に安全や安心、魅力がなければ、住み続けてもらうことはできません。さらに、人口増加を目指すためには、外から人を呼び込む「社会増」、子育て環境を整備して出生率を上げる「自然増」に資する施策が求められます。まずは、社会増と自然増を支えるため、魅力的かつ安定した「しごと」の創生を目指し、質の高い「雇用」創出や、所得向上を図ることを基軸とするため、最も太い一之柱とし

て位置付けました。

次に、魅力ある「しごと」をつくり、特色ある地域資源を発信することで、諏訪市への新たな「ひと」の流れをつくりだし、外部からの人材誘致も含めた移住促進や、地元出身者のUターン促進による「社会増」への転換を図ることを、二之柱に位置付けます。

さらに、諏訪市に居住した後は、結婚・出産・子育ての切れ目のない支援を展開することで特に若い世代を中心として、子どもを生み育てる「希望」の実現により「自然増」への転換を図るとともに、ものづくり教育を核とした諏訪版キャリア教育の充実による「ひと」の創生を目指すことを、三之柱に位置付けています。

そして、安全・安心・安定した「暮らし」の充実により、自分らしく生きいきと住み続けることができる「まち」の創生により、地域の活力維持・活性化を図ることを、四之柱としました

諏訪地域6市町村との関係

人口減少社会を迎える中、地方自治体の行政体制の充実や効率化に加え、近隣市町村との連携をより一層推進することで、地域資源を活用した魅力ある地域づくりに取り組むとともに、地域間競争に勝ち抜くことで「選ばれる地域」を目指す必要があります。

諏訪地域では、民間企業や市民レベルにおいて行政の枠を超えた経済圏・生活圏が形成されています。産業や観光、医療・介護など、諏訪地域6市町村の連携により大きな効果が期待できる分野については、協力体制を強化するとともに、さらなる広域連携による諏訪圏域全体の底上げを図ることが求められます。そのため、諏訪地域6市町村における広域的課題及び関連施策について、それぞれの総合戦略に位置付けるよう、諏訪市から提案を行い、6市町村での合意を得るとともに、連携して取組を推進することとしています。



本日の3分間スピーチ

本日のスピーチは小松孝弘会員でした。「財団」「米山」へ多くの寄付をした感想から「お金が出ていくときに戻っておいで」と声をかけるときっと良い形で戻ってくるというのが印象的でした。

